

# 2月 二宮小学校便り

平成30年  
2月6日発行

3学期も2月に入ってしまいました。この1か月を振り返ります。

始業式では、初夢の話から、この1年をどのように夢見るかということをお伝えしました。新たな1年の始まりとともに、29年度の締めくくりでもあるので、両方の思いを持ってどんなスタートを切るかを考えていきましょうということです。

その上で、昨年末ご協力いただきました学校評価アンケートの結果について考えてみました。昨年に引き続き、子ども達への「あなたは、学校が楽しいですか？」に対して「よく当てはまる」が43.0%、「おおむね当てはまる」が42.3%であったことを大きな課題ととらえます。2年連続で減少しているからです。そもそも、15%近くの子も達か、どちらかというというものを含めて「当てはまらない」と感じている事実が目の前に突きつけられています。

これを学校全体と同時に一人一人の教員が同じ思いで受け止めなくてはなりません。多様性が認められる学校づくりには、それを担う教職員の理解と覚悟が必要です。

来年度は、再来年度からコミュニティスクールに移行する前段階としての準備の期間にもあたります。児童を中心に、学校と保護者と地域が協働的に関わることを目指すわけですから、いただいたご意見をおろそかにするわけにはいきません。気づいたことに対しては、反省をもとに具体的にできることをやる。そして、前向きに明るい方向性を見出していく気構えが欠かせないでしょう。どうせ口ばかりではと思わずに、お忙しいとは思いますが、是非、積極的かつ前向きな関わりを重ねていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

インフルエンザもついに最盛期を迎えたようです。1月23日を皮切りに学級閉鎖が始まってしまいました。今年は、全国的には大流行していますので、まだまだ要注意です。また、今年の特徴としては、B型を中心にはやりだしましたので、A型にもかかる可能性があるということです。学級閉鎖にするか否かは、学級総数に対する割合だけでなく、前後の欠席数の推移及び予想に基づいて判断します。最終的には、学校医との相談の上、決定となります。

現時点で、延べ13クラスが閉鎖となりました。これからも予防としての積極的な感染回遊を心掛けていきたいです。

12日(金)に恒例の6年生琴・尺八鑑賞体験を実施しました。楽器の説明に続いて演奏を聴かせていただきます。AKB48の曲には、思わず「おー。」という声がかかります。そして、今年も、習っている子との共演。真剣な表情に引き込まれました。続く体験コーナーでは、特に尺八の音がよく聞こえてきました。なかなかのセンスですね。寒い中ですが、新年を迎えての伝統になっています。



25日(木)には、これもまた恒例の1年生昔遊びです。おはじき・けん玉・あやとり・お手玉・紙とんぼ・割りばし鉄砲・こま回しに興じました。記録的な寒波でしたので、冷蔵庫のような体育館でしたが、子ども達は寒さに負けず大張り切りでしたよ。

30日(火)、31日(水)の2日間で、二小チャンピオン大縄跳びが実施されました。欠席の子たちもいましたが、できるときにやろうという思いでした。2年生につきましては、後日学年で開催いたします。

初日は、1・3・5年の部です。3分間で、延べ何人が跳べたかを競います。2回行い、良い方の記録をとります。1年は、66回で1組、3年は、97回で2組、5年は、211回で2組が優勝でした。3年は3組も同記録でしたが、2回合計で2組の勝利となりました。2日目は、4



・6年生です。さすがにさくさくと進みましたねえ。4年は、169回で1組、6年は、216回で1組が優勝しました。6年は3組とも200回越えて、僅差の結果となりました。インフルエンザでどうしようかと思いましたが、校庭というオープンな場でしたので、決行しました。実施時期も気にはなりますが、回す子の運動量を考えると、この時期がいいかなあと思いました。